

3. 1 アグリゲータ機能を付加した学内情報提供サービス

東京工業大学附属図書館情報管理課長

棚 橋 章

1. はじめに

東京工業大学は、「世界最高の理工系総合大学の実現」という長期目標を掲げ、理学、工学、情報理工学、社会理工学及び生命理工学等、理工学分野に特化した研究・教育が行われている、大学院を中心とした総合大学である。

このように、理工学分野の利用者を対象とする附属図書館では、当然、理工学分野に特化した図書館資料が蔵書構成の大部分を占めている。特に利用度が高い外国学術雑誌、テクニカルペーパー及び国際会議録といった資料が中心となり、理工学分野の外国雑誌センター館としての役割をも併せ、ドキュメントデリバリーシステムを中核としたハイブリッド・ライブラリー・システムを運用している。

本日は、学術雑誌情報、学内外の研究成果情報及びインターネット上の情報源を如何に早く収集・加工・発信できるかに重点を置き、シームレスな情報の提供と情報のナビゲータ機能を果たしている電子図書館システムのコンセプトを紹介する。

2. コンセプト

高度で快適な教育・研究・学習環境の支援及び社会貢献を促進するために、エンドユーザ主体の学術情報アクセスに対応できる環境整備、そのためのハイブリッド・ライブラリー・サービスシステムの実現を目指す。

- 1) 各種二次情報データベース、電子ジャーナル、OPAC（蔵書目録）及びネットワーク上の学術情報資源等の横断的検索からドキュメントデリバリーサービス（DDS）までを一体化した統合型図書館サービスシステムの実現。
- 2) 学内における学術研究情報の発信機能の強化。

3. 主な具体的方策

1) 機動的ドキュメントデリバリー・サービス（e-DDS）

グローバルな機動的ドキュメントデリバリー・サービス（世界規模の大学図書館間で文献を画像データとして伝送するサービス）と連携し、研究者（教官等）の文献入手依頼から文献画像データ閲覧・印刷までを一体化させた、汎用的な学内文献画像伝送サービス（e-DDS=Electronic Document Delivery Service）事業を開始した。

2) サービスの整備・充実

(1) 電子ジャーナルのライフライン化＝研究情報基盤化の充実

電子ジャーナル・学術文献データベースを全学的な研究情報基盤として位置付け、共通経費化して導入の拡大を図る。

(2) 研究・学習支援のためのデータベースの作成

- ・国際会議録、テクニカルペーパーの最新目次情報データベースを作成・提供する。
- ・ネットワークリソース・データベース・サービスの整備充実：学内外の理工学系学術研究活動支援のため、ネットワーク上に存在する理工学系学術情報資源の収集及び書誌事項の付与を行い、これを提供する。
- ・シラバスデータベース（予定）、ブックコンテンツ・データベース（東京大学提供）等と OPAC とのリンク
- ・電子ブック（e-Book）サービスの提供（予定）

(3) その他

- ・Ask サービス：デジタル・レファレンス機能の充実
- ・各種申請等の電子化
- ・携帯電話に対応した OPAC 関連サービス

3) 学術研究活動・成果情報発信機能の強化

(1) 学術研究活動・成果情報に対するポータル機能の実現（日本語及び英語版）

学内から発信される学術研究活動・成果情報（研究成果情報，研究者情報，広報・案内及び各種データベース等）に係るメタデータ（書誌事項）及び学術論文等のデジタルアーカイブを構築し，それらを一元的に管理する学内ポータルサイトを設置する。（検索結果と情報そのものの提供）

(2) 附属図書館が所蔵する東京工業大学の特徴的な学術研究成果等を独自にデータベース化し発信する。

- ・学位論文全文データベース
- ・Tokyo Tech Book Review データベース（予定）
- ・研究者情報データベースと OPAC との相互リンク

4. 提供されている情報源及びサービス内容

1) TDLオリジナルデータベース

- ・OPAC（蔵書目録）
- ・本学が所蔵する国際会議録及び NASA Technical Reports, AIAA Paper 等テクニカルペーパーの目次情報データベース
- ・学位論文の索引情報及び本文情報（著作権許諾済）のデータベース
- ・ネットワーク上に存在する理工学系学術情報資源のメタデータ・データベース

2) 電子ジャーナル（主なサービス）

- ・ACM Digital Library
- ・ACS plan option B
- ・Cell Press
- ・EBSCOhost
- ・Kluwer Online (STM)

- Nature all section
- Science Direct
- SDOS (Science Direct On Site)
- Springer-Link
- Wiley InterScience

3) 二次文献情報データベース (主なサービス)

- Engineering Village2 (Compendex, USPTO, CRC ENGnetBASE 等)
- Papers First/Articles First
- SciFinder Scholar
- SwetScan
- Web of Science (Science Citation Index Expanded, Journal Citation Reports)

4) 提供サービス

- ドキュメント・デリバリー・サービス (e-DDS) : 文献複写・貸借依頼
- 文献複写・現物貸借の申込み, 処理状況の問い合わせ
- S D I サービス
- 図書貸出予約・状況確認
- 予算執行状況の問い合わせ
- 図書選定依頼等
- 図書及び雑誌の購入依頼
- Ask サービス (質問・要望等受付)
- 携帯電話対応OPAC

5) 各種データベースとのリンク

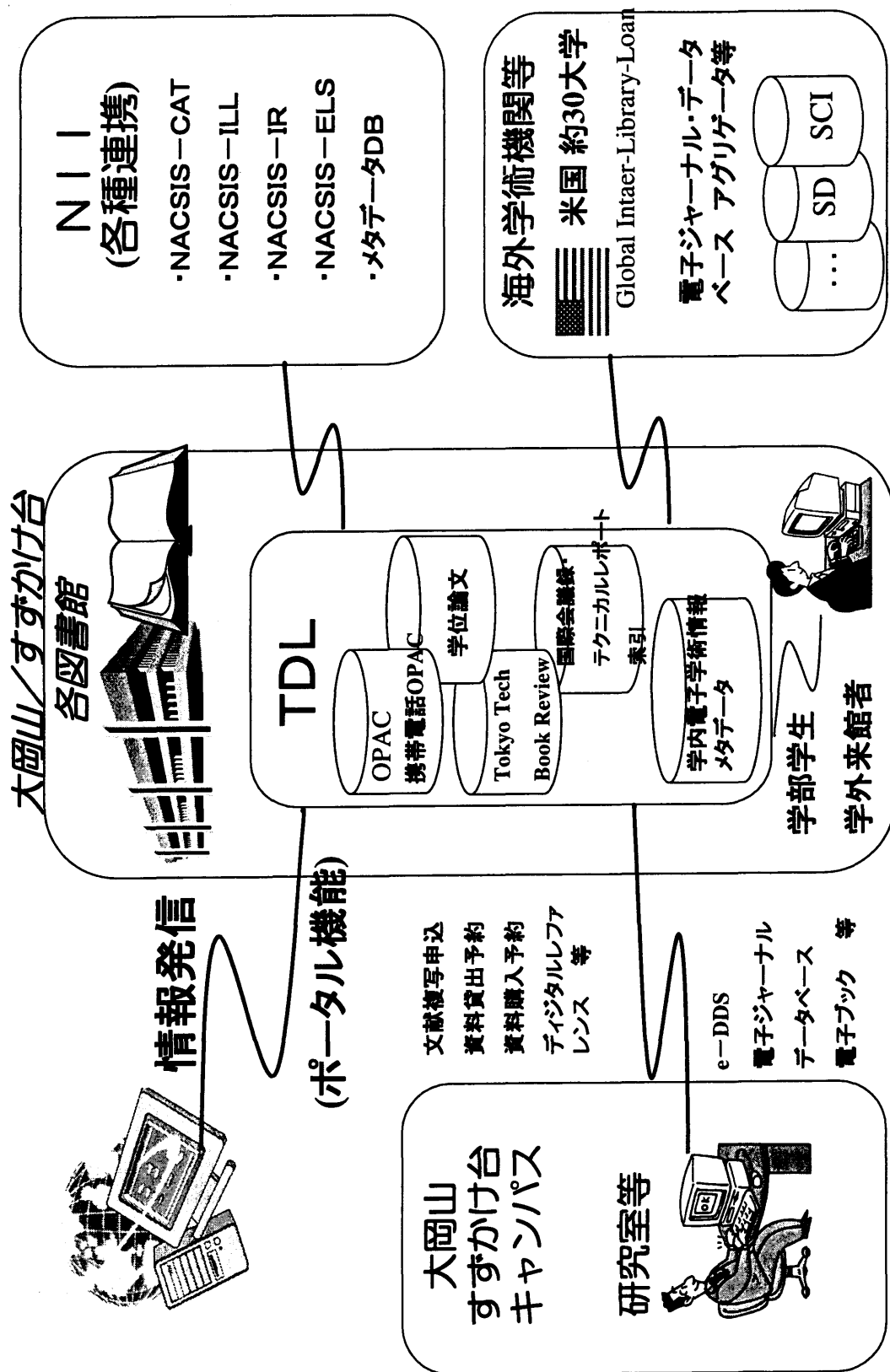
- Book Contents (東京大学が提供)
- COPAC (英国図書館コンソーシアム CURL 加盟館所蔵目録データベース)
- CISTI (カナダ科学技術協会所蔵目録データベース)
- Library of Congress (米国議会図書館所蔵目録データベース)
- MELVYL (R) (カリフォルニア大学9キャンパス目録データベース)
- NACSIS-Webcat, NACSIS-ELS 等 (N I I)
- OhioLINK (オハイオ州図書館コンソーシアム総合目録データベース)

5. 今後の課題

平成14年度の電子計算機システム更新により, 従来の電子図書館システムと図書館業務用システムとを密接に連携させ, 蔵書目録, 各種データベース・電子ジャーナルの横断的検索から文献入手を始めとする各種申し込み等までを一体化した統合型図書館サービスシステムを構築し提供開始した。今後, 新たなデータベースの構築・導入の検討, 書店連携システムの構築, 学内ポータルサイト機能の実現など, 学内関係部局等との連携を図り, ユーザ主体の情報提供サービスシステムを更に高度化しなければならない。



電子図書館システム - 全体像 -





ドキュメントデリバリーシステム(e-DDS)

